

電気通信大学 平成16年度シラバス

|         |                          |          |       |
|---------|--------------------------|----------|-------|
| 授業科目名   | English C                |          |       |
| 英文授業科目名 | English C                |          |       |
| 開講年度    | 2004年度                   | 開講年次     | 1年次   |
| 開講学期    | 2学期                      | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法   |                          | 単位数      | 1     |
| 科目区分    | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I |          |       |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科<br>知能機械工学科       |          |       |
| 担当教官名   | 佐藤 美弥子                   |          |       |
| 居室      | 東1-615                   |          |       |

|          |            |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
|          |            |

|  |
|--|
| <b>【主題および達成目標】</b>   |
| <p>英文も、和文同様、話し手が話す順序で、書き手が書く順序で、組み立てられているのであるから、聴き手も読み手も、その順序に従って聴き読むことでのみ、文章を正確に、かつ迅速に、理解できるのである。この授業では、書かれた文章のみならず話された文章をも素材とし、書き手、話し手の思考過程を辿る訓練を繰り返すことで、「精読」と「速読」という一見矛盾する技術を同時に獲得して貰う。</p> |

|                         |
|-------------------------|
| <b>【前もって履修しておくべき科目】</b> |
| なし                      |

|                              |
|------------------------------|
| <b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b> |
| English A, English B         |

|   |
|---|
| <b>【教科書等】</b>                               |
| プリントを配布する。参考書：語源中心受験英単語1300（エイブル語学研究社、1993） |

|   |
|---|
| <b>【授業内容とその進め方】</b>   |
| <p>上記【主題および達成目標】参照週二回の授業で、多種多様な素材を取り扱う。聴き、読んだ文章の理解を「音読」で試すので、この授業では「読む」「聴く」「話す」の3技能が鍛えられる。進度は、素材の内容と受講者の反応に応じて調整する。</p> |

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席(欠席回数が総授業回数の三分之一を越えると失格。遅刻3回を欠席1回に換算。遅刻と欠席はそれぞれ減点の対象)、授業中の活動、自主発言の回数、小テスト、期末試験(もしくは課題)を成績評価の対象とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業終了後が不都合な場合は、教員と学生双方に都合のよい日時。

### 【学生へのメッセージ】

文章作成過程は、思考過程そのものである。それを母国語で再確認する一方、英語で体験して貰い、最終的には英文を「書く」という行為へ繋げる。

### 【その他】

English Dと連動しているので、一方を履修すると他方も履修することになる。